

収穫が早く莢がきれいな枝豆用 黒大豆新品種「岡山SYB1号」の育成

「岡山SYB1号」の特性一覧



品種系統名	岡山SYB1号	岡山系統1号
主茎長(cm)	60	68
枝豆収穫期 ²	10月7日	10月18日
倒伏程度(0:無-4:全)	1.5	3.5
枝豆収量(莢厚9mm以上)(kg/10a)	1,147	828
百粒重(g)	58.6	76.6
遊離糖含量(g/100gFW) ³	4.65	3.66
食味評価 ⁴	3.11	2.92
ダイズモザイク病の発症程度 ⁵	無	極微
莢の茶しみ症の有無 ⁶	無	有

注) 調査地: 岡山県農林水産総合センター農業研究所
調査年次: 2016~2017年
播種期: 6月24日(2016年)、6月15日(2017年)

² 枝豆収穫期は、全莢のうち概ね80%以上が莢厚9mm以上になった時期で、この時期以降約10日間が枝豆としての収穫適期。

³ 遊離糖測定: 高速液体クロマトグラフィーにより分析。遊離糖含量は果糖、ブドウ糖、ショ糖及び麦芽糖の合計。(2017年のみのデータ)

⁴ 食味評価は普段食べている黒大豆枝豆と比較した総合評価で、1悪い、2やや悪い、3同等、4やや良い、5良いの5段階評価の平均値。数値が大きいほうが評価が高い。

⁵ ダイズモザイク病の発症程度、茶しみ症は遠観調査。

茶しみ症が出ない
「岡山SYB1号」の枝豆

開発のねらい

黒大豆「岡山系統1号」は枝豆収穫時期が遅く、茶しみ症の原因であるダイズモザイクウイルス(SMV)に対する抵抗性がありませんでした。そこで、本県黒大豆枝豆の出荷期間を拡大するため、「岡山系統1号」より早く枝豆収穫が可能で、SMV抵抗性を持った枝豆用黒大豆新品種を育成しました。

新技術の概要

- 「岡山SYB1号」は「岡山系統1号」より10日程度早く枝豆の収穫ができます。
- 莢に茶しみ症がみられず、枝豆の外観が優れています。
- 枝豆の遊離糖含量が高く、食味が優れています。

活用場面

「岡山SYB1号」と「岡山系統1号」を組み合わせることで、黒大豆枝豆の出荷期間の拡大が図れます。